

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)														
ET45F002		学校経営学特論(Special Seminar in School Management)					教育学														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員															
選択	2	1,2	大学院教育学研究科	前期 月曜 3限		氏名 住岡敏弘 E-mail sumioka@oita-u.ac.jp 内線 7532															
授業の概要	学校経営は、学校教育目標を効果的に達成するための営みである。今日さまざまな教育課題が生起している中で、各学校が教育目標を効果的に達成するためには、家庭、学校、地域社会が連携・協働を深め教育活動を展開していく必要がある。以上のような認識にたち、現代の教育改革も念頭におきながら、学校経営や教育行財政をめぐる各トピックに関する専門的知識に関する理解を深め、高度な研究能力を養成する。																				
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 学校経営や教育行財政の基本概念に関する知識を獲得する。																					
目標2 学校経営や教育行財政の各トピックをめぐる議論を踏まえ、今日の学校の望ましいあり方を学校経営の観点から理解し、学校経																					
目標3 家庭、学校、地域社会の連携・協働の構築の視点を理解することで、実践的指導力を身につける。																					
目標4																					
目標5																					
目標6																					
目標7																					
目標8																					
目標9																					
目標10																					
授業の内容																					
1 現代日本の教育状況と学校 受講者の報告に基づく議論の展開																					
2 教育行財政・学校経営の改革動向と課3 教育経営と学校経営																					
3 教育法制の現状と課題																					
4 教育行政の現状と課題																					
5 学校経営の現状と課題																					
6 教育課程行政の現状と課題																					
7 教科書行政の現状と課題																					
8 教職員管理の現状と課題																					
9 児童・生徒管理の現状と課題																					
10 教員の養成・研修の現状と課題																					
11 大学行政の現状と課題																					
12 社会教育行政の現状と課題																					
13 保育行政の現状と課題																					
14 特別支援教育行政の現状と課題																					
15 教育財政の現状と課題																					
ラック	A:知識の定着・確認	現代の学校経営上の課題についてディスカッションを行い、知見を深める。					工夫	その													
ニテ	B:意見の表現・交換						夫	他													
ンイ	C:応用志向																				
グ	D:知識の活用・創造																				
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	・指定された図書を通読してくる。 ・発表用の資料を作成する。(30h)																			
	事後学修	・授業内容を振り返り、学習内容の整理を行う。(15h)																			
教科書	必要に応じ、授業中に適宜紹介する。																				
参考書	中澤渉(2018)『日本の公教育 - 学力・コスト・民主主義』中公新書 日本教育法学会編『教育法の現代的争点』法律文化社 篠原清明編(2013)『教育のための法学: 子ども・親の権利を守る教育法(法学シリーズ職場最前線)』ミネルヴァ書房																				
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10									
	講義における発表	40%																			
	最終レポート	60%																			
注意事項																					
備考	なし																				
リンク																					
	URL																				